

第2回山口県本人確認情報保護審議会 主な意見

【事務局より説明】

- ・ 資料により、住基ネットの稼働状況、セキュリティ確保対策、2次稼働の準備状況等について説明

【主な意見】

- ・ 住基ネットや住基カードなど、今後、住民の利便性の一層の向上を図るとともに、セキュリティ対策も十分に行っていただきたい。
- ・ 特に住基カードの管理については、紛失、その後の悪用やなりすましのおそれがあるので、住基カードの交付にあたっては、その趣旨・内容を窓口でよく説明することが必要である。
- ・ 住基ネットは、4情報のみを扱い、しかも閉鎖されたネットワークであり、セキュリティにそれ程心配はないが、今後、電子申請の実施、電子自治体の構築にあたっては、多種多様な情報を市町村で扱うことが予想されるので、庁内LANなど、市町村のシステム全体のセキュリティ対策が向上されるような県の取組が重要である。
- ・ 住基ネットは、昨年1次稼働、本年2次稼働で一応その基盤整備は終わるので、今後は、これに携わる職員が厳しい自覚と責任を持ってシステムの適正な運用を行っていただきたい。